



第3回キャリア教育アワード 平成25年2月19日

花王株式会社

花王の学校教育支援活動

花王の企業理念

“よきモノづくり”を通して
こころ豊かな生活文化の実現に貢献する



生活に役立つさまざまな知見を
子どもの「生きる力の向上」に役立ててほしい

プログラム開発にあたって



小学校低学年からのキャリア教育に着目

工夫する知恵

自分でできる
自立心

家族の役に
立つ喜び

感謝する心

家族のなかの
役割理解

生きる力

プログラム概要



小学校1・2年生対象
生活科「みんないっしょに」

事前授業 (45分)
教員実施

- 家の中の仕事を知る
- 汚れの種類と場所、おそうじの道具を考える

出張授業 (45分)
企業講師実施

- 食器洗い体験
- ふきそうじ体験

家庭でのお手伝いの実践

事後授業 (45分)
教員実施

- 実践のふりかえり共有



プログラムの特徴

●低学年が興味をもって取り組める教材の工夫



① 教科単元と連動した、 低学年からのキャリア教育

●生活科「みんないっしょに」

自分でできることをする

- 家庭生活が家の人に支えられていることに気づく
- 家族の一員としての自分の役割に気づく

●低学年のキャリア発達課題

身の回りの事象への関心を高める

- 身の回りの人に感謝する
- 家での仕事を通して自分の役割の大切さがわかる



②子どもたち一人一人の「できた！」を重視した体験活動

●家事のプロが一人一人をサポート

- ・企業講師は6～7名のチーム制
- ・食器洗い、ふきそうじ体験で子どもたちに「よくできたね」と講師が声かけ



③ 家庭でお手伝いを習慣化させるしかけ

● 体験授業のあとに“チャレンジウィーク”を設定

- ・ 目標設定した家事を家庭で一定期間実践

● 保護者の巻き込み

- ・ 出張授業で子どもたちとともに活動
- ・ “チャレンジウィーク”での協力機会の提供



プログラムの教育的効果

●児童の感想

そうじはたいへんなのがわかりました。
でも、たのしいし、
みんなのやくにたつことが
わかったから
てつだいをもっとしたい
とおもいました。



●保護者の声

家事の一部を担当することにより、
家族の一員の自覚が出てきたようです。
やり方を工夫するなど、これからも一緒に楽しく
家のおしごとを続けていきたいです。



「継続」を重視し 花王の全社活動として展開

● 経営陣の理解

教育支援活動を風土にしたいとの想い
役員自ら、出張授業の講師として参加

● 社員の積極的な参加

子どもからもらえる元気
社会に貢献できる喜び

● 事務局の確立

キャリア教育コーディネーター養成講座（抜粋版）受講
企業講師の育成



プログラムの今後の展開

「お家のおしごと」の広がり

●出張授業

●海外展開

(東南アジアへの展開)

●教員自立型

2010年度

制作・検証

2011年度

28校実施

台湾
9校実施

2012年度

50校実施

12校実施

制作・検証

2013年度

55校実施予定

15校計画

20校実施予定





子どもに
「生きる力」を